

中讃地域 防災・減災・縮災 ネットワーク・プロジェクトについて

国土交通省 四国地方整備局
香川河川国道事務所

令和7年6月16日

「土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会」
令和6年5月21日開催

【令和6年度の重点的な取組(抜粋)】

- ①「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト」の推進を後押し
 - ・【人材育成プロジェクト】の具体的な取組の推進
 - ・【地域連携プロジェクト】の具体的な取組の推進

⇒リレー防災みらいサロンの開催(3市4町)
- ②流域タイムラインの運用フォローアップの推進
 - ・「流域タイムライン」の運用を推進するとともに、確認された課題に関して関係機関と共有

⇒令和5年度より運用開始し、今後も継続
(令和6年度に大きな出水がなく、タイムラインの実運用実績が少なかったため、「土器川流域タイムライン(洪水)【令和6年度版】」の更新は行わず、【令和7年度版】として引き続き運用)

- 令和2年度までに、平成28年度に「水防災意識社会 再構築ビジョン」を受けて策定した「土器川の減災に係る取組方針」に関する緊急行動計画の取組35項目について、各関係機関によって取り組まれた。
- 令和2年度以降も引き続き減災に係る取組を推進し、未達成な項目を解決するため、「人材育成と地域連携の仕組みづくり」を継続することとし、令和2年度に、中讃地域を対象に広域的な多種多様な組織・団体が連携する「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト（中讃地域RNP）」を設立した。
 【防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト＝Resilience Network Project (RNP)】
 ⇒中讃地域（土器川・大東川・金倉川）の浸水想定区域を対象として、防災・減災・縮災に係るプロジェクトを実施
- 中讃地域RNPでは、地域住民が迅速かつ的確に命を守る避難行動を実行する“避難支援体制づくり”や、地域が迅速かつ柔軟な復旧・復興を成し遂げる“災害に強い地域づくり”を目指した取組を推進している。

「土器川の減災に係る取組方針」取組35項目

「土器川の減災に係る取組方針」 取組の大項目	取組項目	達成	未達成
1) 水害に対する安全性の向上および危機意識の向上とともに迅速かつ確かな避難行動のための取組	24項目	15項目	9項目 「多機関連携型タイムライン」利用推進 「地域包括支援センター・ケアマネジャーと連携した取組」 など
2) 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための的確かつ効率的な水防活動の取組	7項目	6項目	1項目
3) 一刻も早い生活再建、社会経済活動の回復を可能とするための排水活動、施設整備(防災機能の維持)の取組	4項目	4項目	0項目

中讃地域として、
地域連携の取組推進が必要

減災対策の取組における本質的な課題(人材育成と地域連携の仕組みづくり)への対応



中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト(中讃地域RNP)の推進

【本質的な課題への対応】(犠牲者ゼロを目指して)

●地域住民の水防災意識の向上

- ・【人材育成】: 防災士等と連携した地域防災リーダーの育成、公助と共助が連携した防災教育・訓練の仕組みづくり
- ・【地域連携】: 共助の横の連携体制(連絡体制)の強化、公助と共助が連携した情報共有の仕組みづくり

- 中讃RNPは、広域的な中讃地域を対象に、地域住民が迅速かつ的確に命を守る避難行動を実行する“避難支援体制づくり”や、地域が迅速かつ柔軟な復旧・復興を成し遂げる“災害に強い地域づくり”を目指し、「人材育成と地域連携の仕組みづくり」に関する取組を推進。

【目的】

- ◆ 中讃地域における多種多様な組織・団体が連携することにより、地域住民が迅速かつ的確な命を守る避難行動を実行できる“避難支援体制づくり”や、地域が迅速かつ柔軟な復旧・復興を成し遂げられる“災害に強い地域づくり”を目指して、「人材育成と地域連携の仕組みづくり」を継続的に推進

【活動内容】

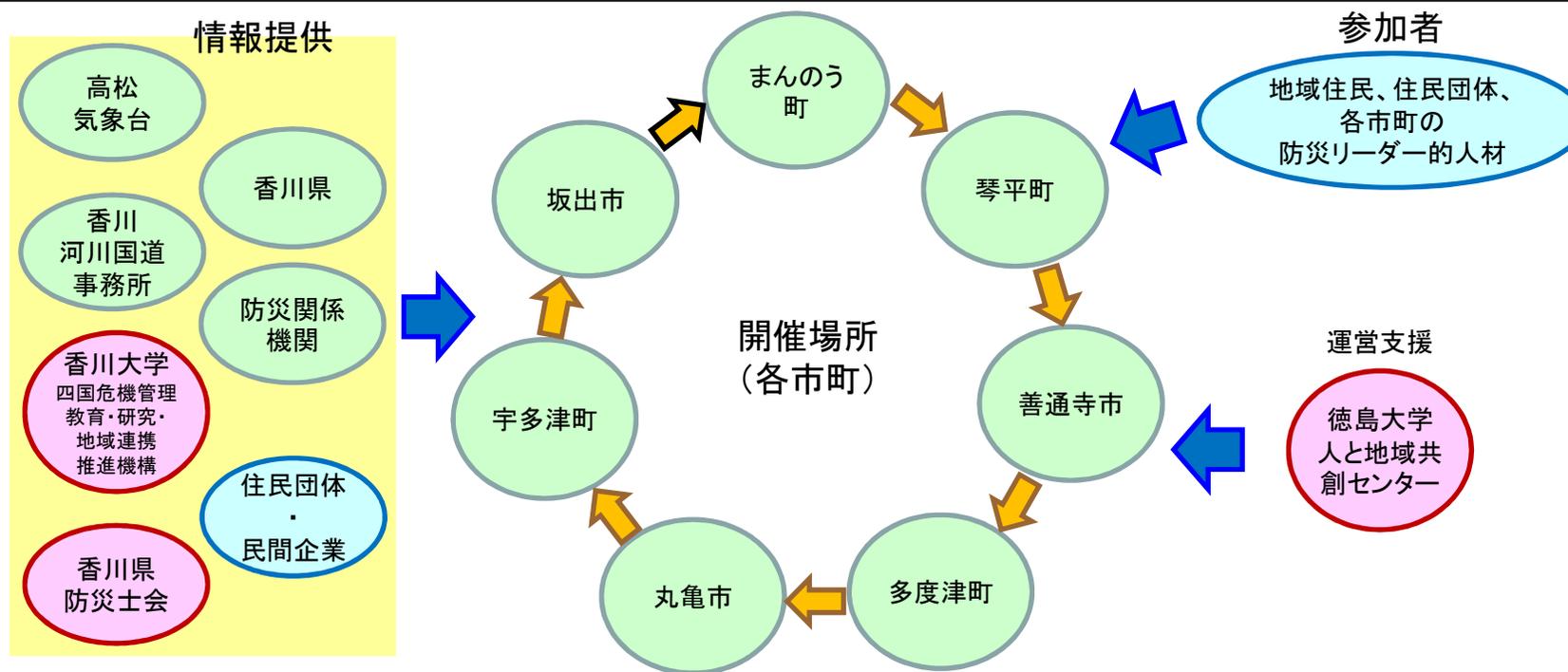
- ◆ 中讃地域において、プロジェクトの中核となる「枠組み(組織、場)」を構築することにより、地域防災のプラットフォームを形成し、地域の既存組織と広くつながる環境を整備
- ◆ 「人材育成プロジェクト」と「地域連携プロジェクト」の具体的な活動を実施することにより、地域の情報共有、地域活動の共同参画、災害時の協力体制などの新たな仕組みを醸成

【組織】

主幹メンバー	香川県、丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、琴平町、多度津町、まんのう町、香川県防災士会 中讃ブロック・坂出宇多津ブロック、香川大学(四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構)、香川河川国道事務所
協力メンバー	地域防災関連組織、社会福祉関連組織、まちづくり推進組織、NPO団体、ライフライン事業者、民間企業 など
支援メンバー	徳島大学 人と地域共創センター(ワークショップ等の社会技術の支援)など

リレー防災みらいサロン

- 継続的な人材育成と地域連携の場を提供し、住民自らが防災情報に関する情報の収集や意見交換、地域の活動を知るきっかけをつくるため、各自治体（中讃地域RNPメンバー）が主体となって、継続的に連携して「リレー防災みらいサロン」を開催。



【リレー防災みらいサロン・プログラム(例)】

- **テーマ:** 気象情報、河川情報、防災情報システム、災害リスク(自然災害全般)、防災とまちづくり、防災と福祉、防災学習(ゲーム)、災害伝承など
- **構成:** 3部構成『①講習(現地オンライン中継)、②住民組織からの情報提供、③カフェスタイル座談会』、計2時間
- **場所:** 各市町のコミュニティセンターなど
- **コメンテーター:** 香川県防災士会 中讃ブロック・坂出宇多津ブロック、参加者(開催場所の一般参加者に加え、各市町の防災リーダー)
- **主催者:** 中讃地域RNPの主幹メンバー
- **運営支援:** 徳島大学 人と地域共創センター

リレー防災みらいサロンの開催(令和6年度)

- 中讃地域を主体に、「人材育成プロジェクト」と「地域連携プロジェクト」の活動を実施することにより、地域の情報共有、地域活動の共同参画、災害時の協力体制などの新たな仕組みを醸成させる取組として、令和3年12月のキックオフ・シンポジウムより具体的に活動を開始。
- 防災意識の向上に加え、地域のつながりを目指し、交流の場「リレー防災みらいサロン」を企画し、令和5年2月に丸亀市で第1回(試行)開催をスタートとして、令和6年度も引き続き、土器川流域の各市町で開催。

R6年度 リレー防災みらいサロン 開催状況一覧表

市町z	令和5年度	令和6年度	
	実施内容	実施状況	開催形式
丸亀市	R5.12.3(日) 出前講座	R7.1.18(土)	合同防災訓練
坂出市	R5.10.28(土) ゲーミングワークショップ	R6.11.23(土)	防災キャンプ
善通寺市	R5.9.9(土) 自主防災会講演会	R6.11.2(土)	合同防災訓練
宇多津町	—	R6.8.10(土)	防災講演会
琴平町	—	R6.7.19(金)	ワークショップ
多度津町	R5.9.23(土) ワークショップ	R6.12.21(土)	ワークショップ
まんのう町	R6.3.3(日) 総合防災訓練	R6.12.22(日) ほか	講演会 防災訓練 等

【丸亀市】R6年度リレー防災みらいサロンの概要

- 丸亀市では、市内全地区の自主防災組織による合同防災訓練を実施。
- 合同防災訓練は2部構成とし、前半では防災訓練を行い、後半では防災講演会を行った。

日時 令和7年1月18日(土)

場所 土器川体育センター

参加者(167名)

- ・市内17地区自主防災組織
- ・丸亀市社会福祉協議会
- ・丸亀市職員(危機管理課、地域づくり課、消防本部予防課)

訓練(講師:川西地区自主防災会)

- ① 避難所設営訓練
- ② 生活用水等補給訓練
- ③ 担架搬送及び車いす搬送訓練
- ④ 消火活動、土のう作製、ロープワーク及び煙体験ハウス訓練
- ⑤ 炊き出し訓練

防災講演会

演題 「南海トラフ地震へどのように備えるか」
～能登半島地震の教訓を活かす～

講師 香川大学特任教授 金田 義行 氏



避難所設営訓練



防災講演会

【坂出市】R6年度リレー防災みらいサロンの概要

- 坂出市では、小学生児童の親子を対象とした防災キャンプを開催。
- 防災クイズや避難所生活体験、防災食調理体験など、親子で楽しみながら防災知識を学習した。

日時 令和6年11月23日(土)

場所 交流の里 おうごし

内容 防災キャンプ



令和6年度 リレー防災みらいサロン

ぼうさい
防災
キャンプ

参加
無料

災害時の避難所での
生活を体験しよう！

日時 **11月23日(土) 9:00~12:00** (受付 8:40~)

会場 **交流の里 おうごし**
〒762-0014
坂出市王越町木沢1197番地8

募集対象 **坂出市内の小学校に
通学する児童(20名)**
※3年生以下は保護者同伴
参加団体: 坂出市防災指導員、さかいて131おとめ隊、坂出市危機管理課

プログラム

1. オリエンテーション(9:00~)
2. ワークショップ(9:15~)
クイズで防災を学ぼう!
3. 避難所生活体験(10:10~)
間仕切りテントを組み立てよう!
簡易トイレはどんなもの?
4. 防災食調理体験(11:00~)
非常食をつくって食べよう!
5. 閉会(12:00~)

申し込み方法
右の二次元バーコードから
お申し込みください。

申込受付期間
11月5日(水) 9:00 ~ 11月13日(水) 17:00
※先着順とし、定員に達し次第締め切らせて
いただきます。

お問い合わせ先: 坂出市 総務部
危機管理課 防災係
E: kikikanri@city.sakaide.lg.jp
TEL: 0877-44-5023

共催: 坂出市
中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト
(事務局: 国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所)

【善通寺市】R6年度リレー防災みらいサロンの概要

▶ 善通寺市では、自主防災会による合同防災訓練を実施。

日時 令和6年11月2日(土)

場所 善通寺市武道館

- 市内の8地区による合同防災訓練が実施され、ポータブル電源の取扱いや、簡易トイレ・重量物に挟まれた人の救出などさまざまな訓練が実施されました。
- 訓練には地域の自主防災会員や学生防災サポーターやトラック協会、消防本部員などが参加されました。



ポータブル電源取扱訓練



簡易トイレ使用訓練



煙の体験



災害用伝言ダイヤル体験



段ボールベット設置訓練



物資搬送訓練

【宇多津町】R6年度リレー防災みらいサロンの概要

- ▶ 宇多津町では、防災講演会を開催。
- ▶ 関西大学社会安全学部教授の奥村与志弘氏を講師に迎え、住民全体に対して「防災価値と日常価値」～宇多津町の未来を見据えたこれからの防災・減災～を演目に、防災について学んだ。

日時 令和6年8月10日（土）
 場所 宇多津町保健センター4階
 対象者 宇多津町民
 防災講演会 「防災価値と日常価値」
 ～宇多津町の未来を見据えたこれからの防災・減災～
 講師 関西大学社会安全学部 教授 奥村与志弘 氏
 内容

- ・ 8月に発表された南海トラフ臨時情報について
- ・ 平時の災害に対する取り組みや考え方について
- ・ 質疑応答




『防災価値と日常価値』
 ～宇多津町の未来を見据えたこれからの防災・減災～
 南海トラフ地震が、今後30年以内に70%～80%の確率で起こると予測されています。その中から、防災・減災や防災コミュニティについて、考えてみませんか？



【講師】奥村 与志弘 氏 【関西大学 社会安全学部 教授】
【日時】令和6年8月10日（土）
 午前10時～11時30分 【開場：午前9時30分】
【会場】宇多津町保健センター4階
参加費無料の会費はありますが、要予約の席は限りあります。お申し込みは先着順となります。お申し込みは下記まで。

【講師プロフィール】
 1973年生まれ、岡山県出身。専門は防災行政・防災。2008年3月関西大学社会学部社会学系准教授に就任。2012年4月同大学社会学部社会学系准教授に就任。2017年4月同大学社会学部社会学系准教授に就任。2022年4月同大学社会学部社会学系准教授に就任。2023年4月同大学社会学部社会学系准教授に就任。2024年4月同大学社会学部社会学系准教授に就任。2025年4月同大学社会学部社会学系准教授に就任。

【お問い合わせ】 宇多津町危機管理課
 TEL: 0877-49-8027 メール: kiki@town.uetsu.lg.jp

（町広報折込チラシ）

【琴平町】 R6年度リレー防災みらいサロンの概要(1/2)

- ▶ 琴平町では、身近な災害リスクに対する理解促進のため、小豆島豪雨(昭和49・51年集中豪雨)の災害記録を通じて、災害リスク・住まいの危険度を考えるワークショップを実施。
- ▶ 参加者で災害リスクを話し合い、共有することで、参加者それぞれの気づきを自分事として考え、災害リスクを考えるきっかけづくりを実施。

日時 令和6年7月19日(金)
場所 琴平町総合センター
対象者 婦人防火クラブ
話題提供 演目:「香川県の災害記録」
 ~小豆島災害(昭和49・51年集中豪雨)の記憶~
講師 香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
 地域強靱化研究センター 准教授 磯打千雅子 氏
意見交換(カフェスタイル座談会) 災害リスクについて



ワークショップ開催状況

【琴平町】 R6年度リレー防災みらいサロンの概要(2/2)

➤ ワークショップでの意見交換の概要は、ビジュアル的にわかりやすい、グラフィックレコーディングにより記録。

中讃地域
防災・減災・縮減ネットワーク・プロジェクト
令和6年度 リレー防災みらいサロン
琴平町
2024.7.19

リレー防災サロンの目的

災害に強い
地域づくりを目指して...

知ろう! 話そう!

防災

つながりの車輪を広げよう!

琴平町

Kotohira Town

今日、
どこで何が起こるかわからない
ハザードマップで危険情報を知り
自分に必要な対策をしましょう!

災害の少ない香川県...
危険意識が低い
災害リスクが高い

川の防災情報
検索してみてください

コーディネーター
澤田 俊明
徳島大学人と地域共創センター
専員教授

11ガードマップ®にシールを貼ろう
(自らの住居)

自己紹介タイム
おとなりの人と...

生まれたところ
の自慢をしよう!

お互いのこと
を誉め合おう!

今日来ている人の
ほとんどが
(1人以外全員)
危険な場所に
住んでいる!!

話題提供 災害リスク・住まいの危険度をかんがえよう!

極端な気象現象増加
台風の数が増え、スピードが速くなりになる

確率的地震動予測地図
(30年以内に震度6弱以上)

住むことができる
日本の平野は
3割

災害に対して危険だと
分かっている場所に
住んでいる人
人口約1億2700万人
7割

香川県内では?
97.4%が危険な場所...
実はリスクの高い香川県

災害に備えて
何か準備してる?

枕元に< >
非常持ち出し袋を
自分分だけ1冊
準備してる
by 防災士の関野

小豆島災害証言映像
浜口美須菜さん

家か紙のように
福んだ

発話集
録音して
振り返り
しよう

意見交換 災害リスクを話し合う ☕ カフェスタイル座談会

証言映像を見て...
どんなことか思うか?

みなさんの
感想・気づき

山の上の家
不安

避難の不安

災害時の
行動は
どう?

避難場所の
見直し

災害から50年経ても
備えが足りていない
ことにも気づいた

恐怖心が
解き放たれることは
ないんだと思った

自分ごと
に
していくことが
大切だよ
by 澤田

全体で共有しよう!

グラフィックレコーディングのさの はるか(徳島大学協力員)

- 多度津町では、地震について楽しく学びながら、地域の人たちとつながり、知り合う機会を増やすため、ワークショップ(カフェスタイル座談会)を開催。
- ワークショップでは、地震に関する講演や簡易な液状化実験などで地震について学び、意見交換では、南海トラフ地震臨時情報が出れば、住民は何をすれば良いかなどの意見交換を実施。

日 時 令和6年12月21日(土)

場 所 多度津町地域交流センター 2階ホール

話題提供 講演1 「南海トラフ地震臨時情報と液状化について」

講師 高松地方気象台 南海トラフ地震防災官

話題提供 講演2 「令和6年能登半島地震 被災地での活動報告」

講師 国土交通省 香川河川国道事務所 工事品質管理官

意見交換(カフェスタイル座談会) 地震について



液状化実験装置

ワークショップ開催状況

- ▶ まんのう町では、能登半島地震に関連する講話の実施、町が地域単位の防災訓練を支援するなど防災意識の高揚を図った。
- ① 能登半島地震災害派遣職員により現地の状況等を町民に説明し、南海トラフ地震に対する耐震対策、家具の転倒防止対策など日ごろの備えについて町民の防災意識の高揚を図った。
- ② 各地区単位で行われる防災訓練に、町が参加し、備蓄品・持ち出し品の展示、避難所の開設要領などを展示・体験するなど「自助・共助の重要性」を説明した。
- ③ 町防災士会等と協力し、公民館文化祭、地域の訓練などで防災に関する啓蒙活動を行った。

① 能登半島地震派遣職員による講演

- 1月地震の被害状況説明
倒壊家屋、避難所、仮設住宅など
- 9月輪島水害の状況説明
流出家屋、土砂崩れなど
- 南海トラフ地震に対する備え
心構え、初動に対する備え



② 地区単位の防災訓練を支援

- 備蓄品・持ち出し品の展示
- 避難所の開設



- 新聞スリッパづくり体験
- キッチンカー協会と協力



③ 町防災士会と協力した啓蒙活動

- 公民館文化祭に参加
防災クイズ、持ち出し品の展示
- 各地区防災訓練への支援
- 防災意識の高揚、啓蒙活動への協力

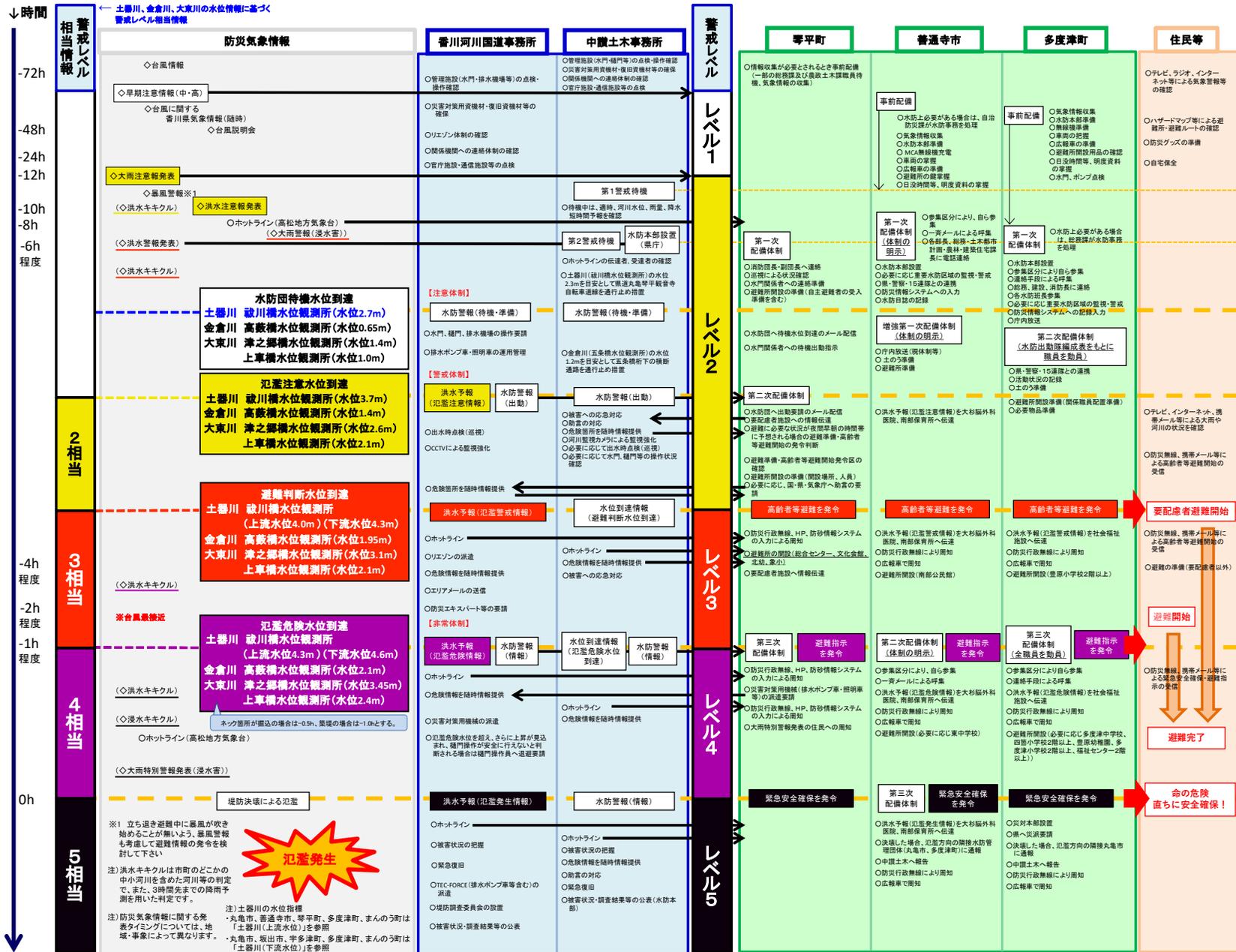


- 「土器川・金倉川・大東川 多機関連携型タイムライン(洪水)【令和6年度版】」のブラッシュアップを目的に、令和6年度の運用状況と、運用における課題や問題点について、アンケート形式で関係機関の検証結果をとりまとめた。
- 令和6年度に大きな出水がなく、タイムラインの実運用実績が少なかったため、多機関連携型タイムライン【令和6年度版】の更新は行わず、【令和7年度版】として次年度に運用する。
- また、令和6年度ワーキングは実施せず、次年度以降の開催とした。

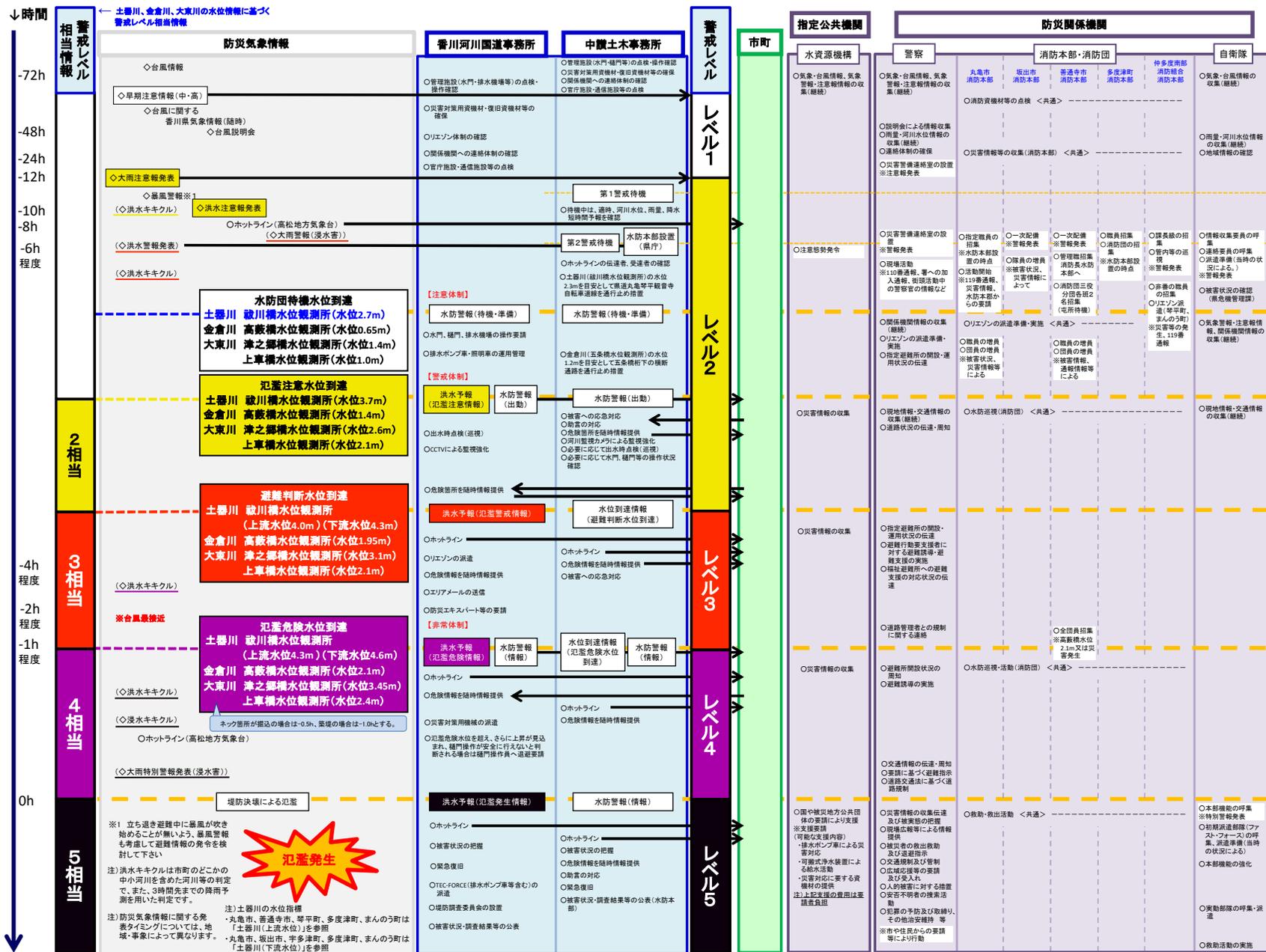
「土器川・金倉川・大東川 多機関連携型タイムライン(洪水)【令和6年度版】」の運用・検証について

項目	内容	備考
タイムライン運用期間	令和6年6月～10月(出水期)	
タイムライン検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ① 実際の洪水時における防災行動との比較検証 ② 防災訓練時の活用による検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・追加すべき防災行動 ・防災行動に必要な新たなトリガー ・不足する情報の追加 ・連携が必要な防災行動 等
検証資料	<ul style="list-style-type: none"> ① 「土器川・金倉川・大東川 多機関連携型タイムライン(洪水)【令和5年度版】」 ② 各機関の「課題(発災後の機能支障(困ること)」、「目的(事前に対応すべきこと)」一覧表 ③ 防災情報の時系列対応図(河川の水位情報に基づく被災シナリオの設定) 	
検証結果のとりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ① 「タイムライン運用結果記入様式」への記載 ② 多機関連携型タイムライン(洪水)の修正 ③ 「課題・目的一覧表記入様式」への具体的内容の記載 	
令和6年度ワーキング	令和6年度に大きな出水による実運用実績が少なかったため、ワーキングは未実施(次年度以降に予定)	

土器川・金倉川・大東川 多機関連携型タイムライン(洪水)[令和7年度版](2/4)



土器川・金倉川・大東川 多機関連携型タイムライン(洪水)[令和7年度版](3/4)

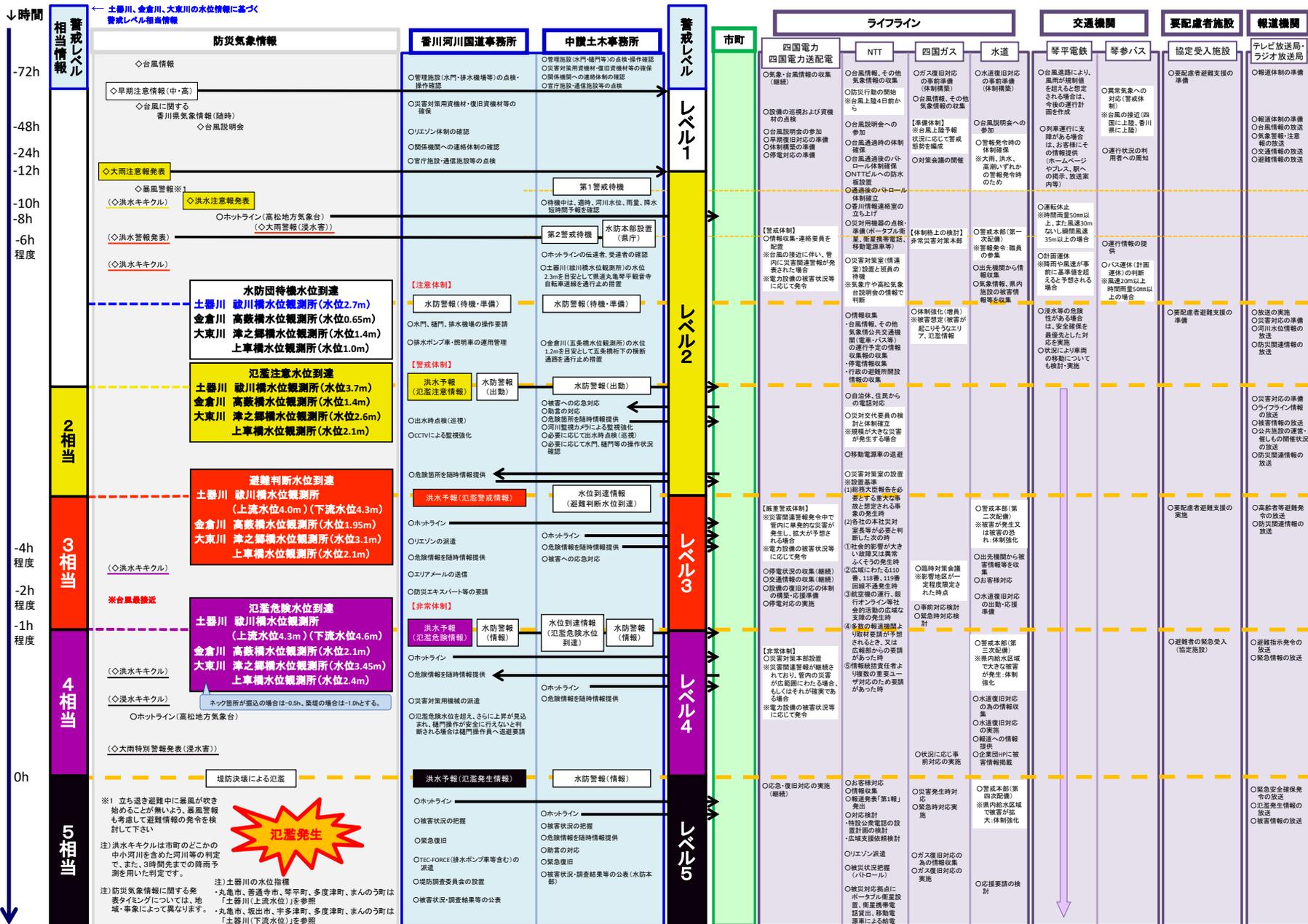


●洪水キキクル、浸水キキクル、土砂キキクルは、大雨特別警報・土砂災害警戒情報・大雨警報・注意報および洪水警報・注意報が発表された場合に、避難が必要な地域の絞り込みを利用して下さい。

※()は、市町単位で発表する気象情報であり、参考としてご利用ください。

○:防災行動(自幹)※:トリガー情報

土器川・金倉川・大東川 多機関連携型タイムライン(洪水)[令和7年度版](4/4)



● 洪水キキクル、浸水キキクル、土砂キキクルは、大雨特別警報・土砂災害警戒情報・大雨警報・注意報および洪水警報・注意報が発表された場合に、避難が必要な地域の絞り込みを利用して下さい。

○: 防災行動 (白枠) ※: トリガ情報

- 災害対策基本法第36条第1項の規定により定めた国土交通省防災業務計画(令和3年10月)より、市町別の「避難情報に着目した水害対応タイムライン」を、「複数の市区町村を対象とした流域タイムライン」に見直し。
- 土器川においては、「土器川・金倉川・大東川 多機関連携型タイムライン」を基に、被災シナリオ、防災気象情報や水位情報を土器川に絞り、国・県・関係市町を対象とした「土器川流域タイムライン」を作成。
- この「土器川流域タイムライン」を令和5年度より運用を開始し、河川の増水・氾濫時の防災対応や訓練等に活用するとともに、実運用で確認された課題に対する防災行動等のブラッシュアップにより、「流域タイムライン」の繰り返し改善を図る。

「流域タイムラインの作成・活用」と「WEB会議ツールによる危機感の共有」の推進

防災・減災プロジェクト第2弾(重点推進施策)

＜河川・気象の行動のきっかけとなる情報をまとめた流域タイムラインを作成・活用！＞

- ・ 河川・気象情報の提供やこれを受けた市区町村による避難情報の発令など基本的な行動を時系列で整理するタイムラインを、流域などの単位で作成。
- ・ 河川の増水・氾濫時の更なる円滑な防災対応や訓練等に活用することで振り返りによる改善を実施。(不断の改善により防災対応をブラッシュアップ)

＜台風接近時等のWEB会議ツールによる危機感の共有を実施！＞

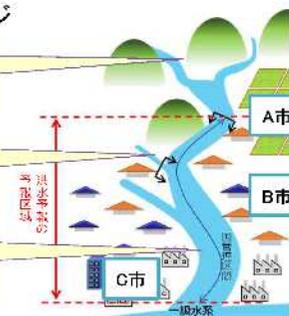
- ・ 市区町村による避難情報発令などの防災対応を支援するため、河川事務所、気象台のほか、都道府県の河川・砂防部局とも連携し、WEB会議ツールを活用することで防災情報や危機感の共有、流域自治体の対応状況等を関係者で一斉に共有

■ 流域タイムラインのイメージ

流域平均の雨量の実況や予測から数日前から警戒感を高める(気象台)

支川等の氾濫のおそれ、土砂災害の危険性について共有(気象台・都道府県河川・砂防部局)

河川水位の実況や予測から氾濫のおそれ共有(河川事務所・気象台)



■ 水害対応タイムラインと法定計画との関係

領域	法定計画等 (策定主体)	タイムライン
流域	国土交通省防災業務計画等 (地方整備局等、事務所等)	流域タイムライン
市区町村	地域防災計画 (市区町村)	市区町村タイムライン
地区	地区防災計画 (自治会、自主防災組織)	コミュニティタイムライン
個人、事業者等	避難確保計画(要配慮者利用施設) 個別避難計画(要配慮者)	マイ・タイムライン

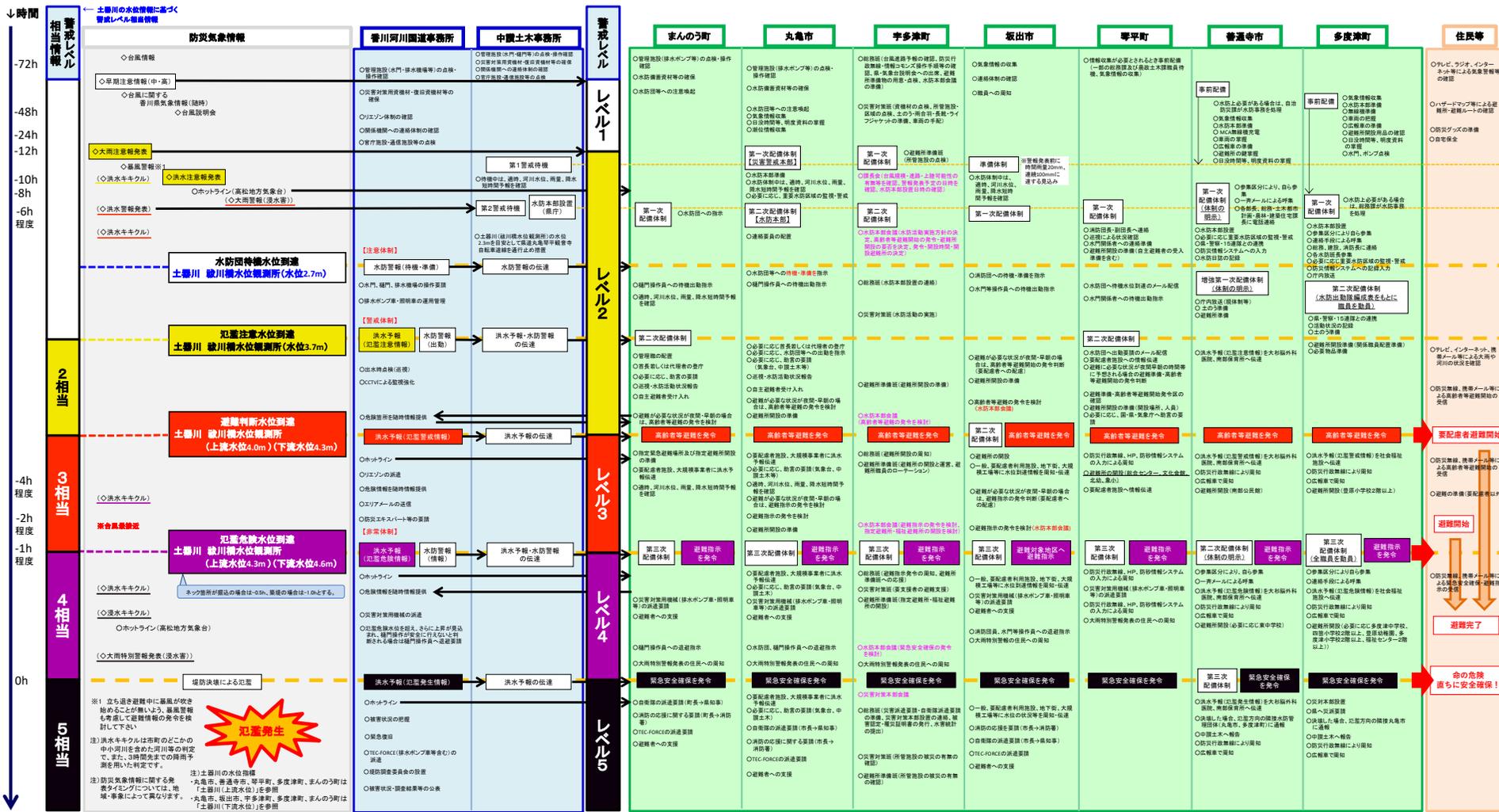
◇土器川流域タイムラインの作成について

- ・ 土器川では、令和4年度に、防災に係わる組織(行政、ライフライン事業者、交通事業者などの民間企業等)の関係者による検討ワーキングを開催し、「土器川・金倉川・大東川多機関連携型タイムライン」を作成している。
- ・ 一方、「流域タイムライン」の作成・活用にあたっては、【必須】関係者(行政機関)、【推奨】関係者(ライフライン事業者、交通事業者などの民間企業等)に分類し、先行して【必須】関係者(行政機関)による流域タイムラインを作成し、今後、運用しながらブラッシュアップしていく方針としている。
- ・ このため、「土器川流域タイムライン」の作成は、「土器川・金倉川・大東川 多機関連携型タイムライン」を基に、【必須】関係者(行政機関)による「土器川流域タイムライン」を作成した。

土器川流域タイムライン(洪水)【令和7年度版】

- ▶ 令和6年度に大きな出水がなく、タイムラインの実運用実績が少なかったため、「土器川流域タイムライン(洪水)【令和6年度版】」の更新は行わず、【令和7年度版】として次年度に運用する。
- ▶ 令和7年度以降も引き続き、「土器川流域タイムライン(洪水)【令和7年度版】」として、運用及びブラッシュアップを図っていく。

※「土器川流域タイムライン(洪水)」は、土器川を対象とした行政機関によるタイムラインであり、香川県(中讃土木事務所)の防災行動は、土器川水防計画書の洪水予報、水防警報の情報伝達に関する事項を記載している。



● 洪水キキル、浸水キキル、土砂キキルは、大雨特別警報、土砂災害警戒情報、大雨警報、注意報および洪水警報、注意報が発せられた場合に、避難が必要な地域の取り組みに利用して下さい。 ※ () は、市町単位で発表する気象情報であり、参考としてご利用ください。 ○ 防災行動

土器川流域タイムライン(洪水)【令和7年度版】

一部拡大

